

The Sakato News

DEMOLITION SITE REPORT Vol.200906

Edited and Published by SAKATOCO,LTD.

314, Chigusacho, Hanamigawa-ku, Chiba 262-0012 tel.043-286-5400 fax.043-286-4187 info@sakato.jp www.sakato.jp

PACLER MAGNUM 3200

パクラー・マグナム 3200

「45 t クラス用小割機で

ワンクラス上の性能を実感！」



THE NEXT WILL BE THE BEST

SAKATO

「45 t クラス用小割機でワンクラス上の性能を実感！」



施工業者	株式会社本間工務店 様 (神奈川県横浜市/総合解体業)
代表者	代表取締役/本間 幸浩 様
インタビュー	専務取締役/船津 聡 様 (写真)
弊社製品名称	マグナム3200 (30t ~ 45tクラスショベル兼用機)
対象構造物	プラントの高強度RC基礎解体
台車ショベル	ZX470 (45tクラススタンダード)

チャレンジ！ 2次解体を30tから45tクラスにし合理化！

当社は木造解体から大型のプラント解体まで幅広い建造物解体業を営んでおります。近年では大型物件における低単価の受注競争に勝ち抜いてゆく目的で、大型重機の機械力強化に力を注いでいます。中でも、45t クラスショベルが中心となっており、対応するアタッチメントに関しても従来所有の汎用機に加え、SAKATO の SRC 専用解体機や鉄骨専用解体機等の特殊機も導入し、あらゆる構造物に対応できる体制づくりも進めてきました。また、100t クラスショベルのツーピースと対応する油圧ブレーカーと、小割機「マグナム 4500 (100t-45t クラス用)」を導入し、大型プラントの基礎解体への対応も進めました。

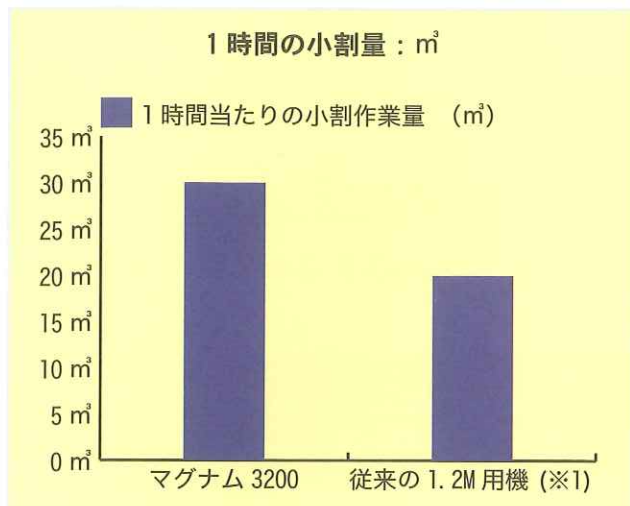
今回取り組んだのは、解体工事全体の合理化の推進の中でも、「2次解体」でコンクリート小割作業の部分でした。従来は 30t クラスショベルで小割作業を行っており、小割機はもちろん 30t クラス用を所有していました。この 30t クラスメインの小割体制を刷新し、45t クラスに大型化させることで合理化を図ろうとする計画です。

SAKATO の「マグナム 3200」は、45t クラス用小割機をベースに 30t クラスショベルで使用できるよう軽量化されている設計が特長です。ですから 45t クラスのツーピースショベルでフル稼働

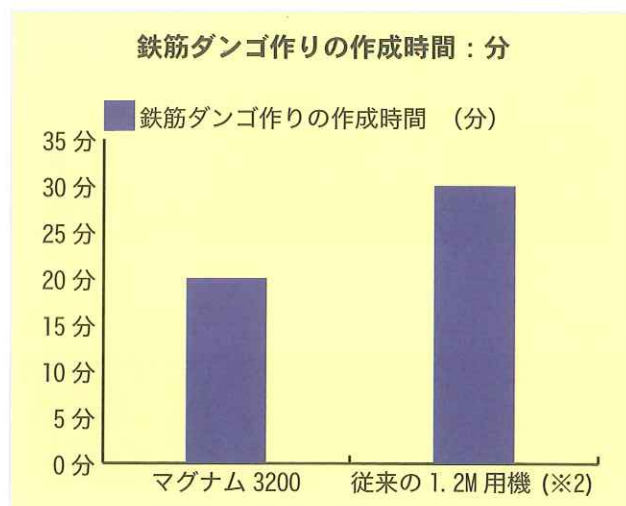


写真：ZX470に取付けたマグナム3200（左）と作業風景（右）

させた場合でも、小割機の耐久性の心配はありませんでした。また重量は3200kgと軽量で有利です。小割作業というものは、ガンガン振り回すような激しいショベルのアームの動きをスピーディーに繰り返すのが特徴です。したがって小割機の重量が1割軽量であるならば、作業性は大変大きく向上するのです。あわせて、ショベルへの負担も軽量な分だけ少なくなるのです。その辺りを評価して導入を決めたのです。



※1 今回の検証では 45t クラスショベルに装着した。



※2 今回の検証では 45t クラスショベルに装着した。

検証！作業量は30tクラスに150%の差をつけた！

マグナム 3200 を 45t クラスショベルに装着して、大型プラントの高強度基礎 RC の小割を行いました。100t や 45t クラスによる 1 次解体工程から回されてくるガラは、300～400mm の小さなガラではなく、500～600mm 程度の比較的大きなガラになります。従来の 30t クラス用の小割機では 1 時間あたり 20m³ を処理するのに対し、マグナム 3200 では 30m³ を処理しました。30t と比較して 150% の作業量に達したのです。これだけ差がつけば十分な導入効果です。大きな開口部にいくつものガラをくわえ込ませて一発破碎させるからこれだけ差がつくのです。それだけの破碎力の差があるのだと感じます。開閉スピードも非常に速いのです。

もうひとつの作業が「鉄筋ダンゴ作り」ですが、従来の 30t クラス用の小割機では 1 個あたり 30 分かかるとのに対し、マグナム 3200 は 20 分で完成させました。同じサイズのダンゴを作るのに約 65% の時間で行なうことが出来るのです。大きな開口部でより多くの鉄筋をくわえて、より大きな力をつぶすから出来るんでしょう。見慣れた現場が、みるみる早送りで綺麗に片付いていくのが印象的でした。そのくらいに感じるほど 2 次解体が早くなったのです。

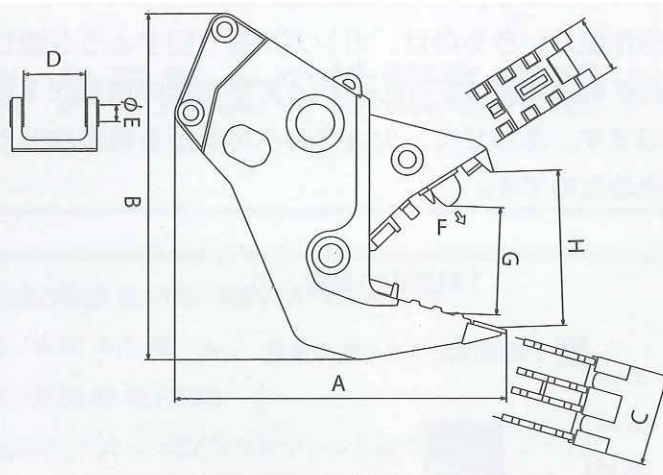
次は30tクラスに兼用装着させてみたい！

今後は 30t クラスショベルでのマグナム 3200 の活用も楽しみです。現場状況等でどうしても 45t が稼働できない時などには非常に助かるでしょう。3200kg ならば 30t クラスショベルで普通に使用できますね。

今回の取り組みで 45t クラスを中心にした、1 次解体と 2 次解体の合理化をまとめることができました。どちらの工程が遅れるでもない、いいバランスが取れてきたと感じています。ひと段落した現段階では、現場でさらに細かな合理化策をみつけては推進しているところです。

PACLER MAGNUM 3200 仕様

PACLER MAGNUM		3200
適合ショベル	tons	30~45
質量	kg	3200
A) 全長	mm	2458
B) 全高	mm	2598
C) 全幅	mm	672
D) ブラケット内幅	mm	482
E) ブラケットボス径	φ/mm	125
F) 破砕力	tons	115
G) FB部開口幅	mm	960
H) 先端部開口幅	mm	1270
設定圧力	kgf/cm ²	320



ここが違う、SAKATOのこだわり1

45tクラス用を軽量化！20tクラス約2台分の処理量！

30t-45tクラス小割機のグローバルスタンダード！MAGNUM3200。

SAKATO独自の軽量化技術により、45tクラス小割機を30tクラスで使用可能にしたことで、20tクラス小割機の約2台分もの作業処理量を実現しています。

ここが違う、SAKATOのこだわり2

30tクラス/45tクラス兼用マシン

2クラス兼用ですから稼働率は大幅に向上可能です。45tクラスに装着すれば、圧倒的な破砕力はもちろん、さらに20tクラス小割機に引けをとらない驚異的なスピードが得られます。30tクラスに装着すれば、45tクラスレベルの破砕力が得られます。

SAKATO

<http://www.sakato.jp>
info@sakato.jp

<発行元> 株式会社サカト商工

本 社 〒262-0012 千葉県花見川区千種町314番地
 TEL(043)286-5400 FAX(043)286-4187